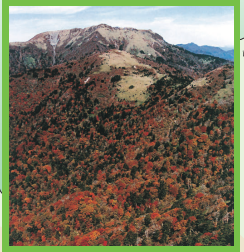
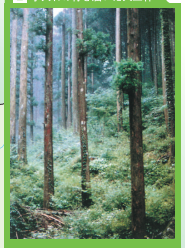
私たちの目指す 物部川 50年後の物部川

1 三嶺山頂



美しい天然林。

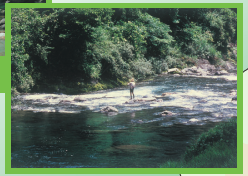
2 手入れの行き届いた人工林



適正な間伐によって下層植生が生え、保水力が高まります。

3 楮佐古川

水量が豊富で瀬・淵が連続し、広葉樹の水辺林が美しい。



4 旧大栃橋付近

上流の川も、常に豊富な水が流れています。(1955年頃)

5 旧山田堰の水泳場

写真提供:山崎房好氏

夏の間、子ども達は川と友達になります。水泳場には監視の大人がいて、子ども達を見守っています。

6 川の生きもの調べ

流域の子どもや住民が参加して、川の生きものを観察し川の様子を調べます。

7 戸板島橋から柳瀬方面を見る

天然アユの遡上が多い年は、多くの釣り人で川が賑わいます。瀬にはたくさんのアユが縄張りを持ち、釣り人が友釣りを楽しみます。

8 戸板島の毛ばりつり

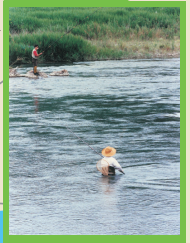
写真提供:山崎房好氏

アユの解禁日には竿が水面を埋め尽くし、釣り人の誰もが大漁でした。(1970年頃)

9 川祭り

流域の住民や川に関わる団体・企業・行政が集まり、川に感謝をするお祭りをします。

10 岡西の岩場

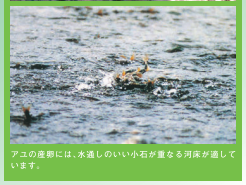


岩が水面下にかくれています。河床低下はなく、水量は豊富です。(1989年)

11 落ちアユ・建網漁

12月1日の落ち鮎解禁日には産卵場周辺はたいへんなにぎわいをみせます。(物部川・槇瀬にて)(1980年代後半)

12 アユの産卵風景



アユの産卵には、水通しのいい小石が重なる河床が適しています。

13 河川の一斉清掃

流域の住民や川に関わる団体・企業・行政が参加し、河川の一斉清掃をします。集めたゴミは分別し、処理については協力体制が取れています。

50年後に目指すのは
50年前に見ていた
水量豊かな魚たちの棲む川
子供たちの遊ぶ川。
物部川の100年を考える時
私たちは今
ちょうどその中間地点にいます。
物部川の再生に向けて
今、私たちにできること。
まずは知ることから始めてみませんか。

川が再生すると海も豊かになります。

たくさんの
生きものが棲む
美しい川に!

発行:高知県文化環境部
〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20
TEL.088-823-9795

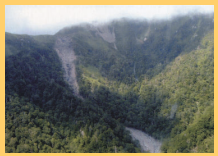
物部川 再生のスタート 現在の物部川

MONOBE-GAWA 100YEARS MAP

物部川100年マップ

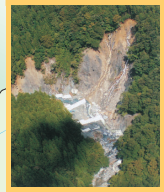
50年前の物部川をとり戻そう!

1 三嶺大崩壊



2004年の豪雨で山頂直下よりフスベヨリ谷にかけて大崩壊が生じ、大量の土砂が谷を下りました。

2 ヒカリ石国有林



上流の山腹崩壊によって砂防堰堤も破壊され、山も崩れました。

3 別府山植林風景

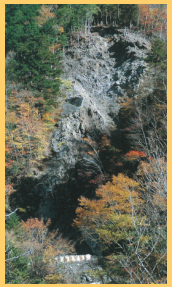
別府山国有林で、流域の諸団体・人々が参加して植林を行いました。なお、左下の写真には被災後の痛々しい別府峡の傷跡が写っています。

4 べふ峡温泉前

砂利で3m程埋まりました。

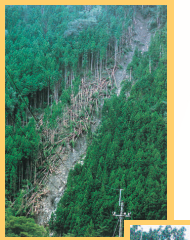
大量の土砂の除去作業。

5 杉の熊山国有林・林道の崩壊



下と上の2重に林道が通っていました。上段は左側のよう壁の一部が見えています。

6 岡の内地区の人工林崩壊



急傾斜地の人工林(20年生)は、根の張りが不十分なために、崩壊が発生しやすいです。

岡の内地区の崩壊現場。

7 永瀬ダム

永瀬ダムから大栃集落方面を望んだ景色です。

8 永瀬ダム流入部

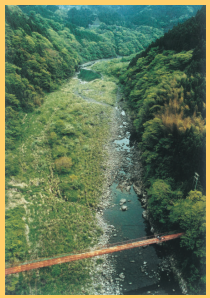
上韮生川のダム湖流入部。土砂で川が埋め尽くされています。

9 舞川

舞川沿いの棚田跡地へのヒノキ植林。手入れが行き届いていません。

舞川沿いの耕作放棄地。ここはキャンプ場前のため、モミジ等が植えられています。

10 新神賀橋より上流を見る



永瀬ダム堰堤から日比原川合流までの間はほとんど水の流れがありません。

11 統合堰の「川の駅」

子ども達にネイチャーゲームで川を感じてもらいます。

12 戸板島橋より上流を見る

大雨が降ると濁水が長期間にわたって続いた結果、川の生態系に大きな影響を及ぼしています。

13 深瀬

渇水期には極端に水深が浅くなり、アユをはじめとする川の生物が産卵場に下れません。

14 岡西の岩場

河床が著しく低下しています。

15 ヨコゼのアユ産卵場

2006年のヨコゼ産卵場造成風景。川底が土砂で目詰まりをおこしているため掘り起こして、適当な小石を深さ20~30cm入れます。

産卵場の造成と産卵場管理をします。

16 チャン鉄砲教室

チャン鉄砲や川で遊ぶ子ども達を絶やしてはならないと、流域のおんちゃんが川遊びを教えています。

17 河口閉塞

水量が極端に少ないため、河口閉塞を起こしています。アユなどが海と川を行き来できるように、重機を使って河口を開削しています。

現在の物部川は
様々な問題を抱えています。
豊かな水が流れ、
たくさんの生き物たちが棲んでいた
50年前の美しい川の姿を取り戻そうと、
今さまざまな取り組みが
行われています。

物部川の今

川のために
今できることを
川のために
今できることを
考え